



原五税郵 錢十五月一 錢貳金部一 價定
 (刊休日祭曜日) 錢05行1 詰字21號5料告廣
 治文時川 人刷印人輯編兼行發
 五三町橋長町平郡城石縣島瀨
 番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

忍終不悔

眞繼雲山

(上)
 人間が神に近いが、獸に近いかの結論を私は知らないが、若し人間の野獸をまざくと知りたうと思ふならば、先づ東京の市内電車の朝夕の昇降口を見るがよい。そこには雑踏と、混亂と、奔めきと、争闘とがある。自分以外の一切を敵と見て、他を排し、虐げて、我れ勝ちにと乗り込むのである。また左様にしなければ何臺待つても何十分待つても、恐らく朝と晩には乗れる時が來ない。

これを成功者として讃仰し追隨する。反對に力なくして乗り遅れ若しくは謙讓して乗らざりしもの失敗者として俗世間人は振り返ることすらしない。振り返つても三丈にもならぬからである。支那人は這箇の輩を目して『宋襄の仁、微生の誠』といふ皮肉な諷刺をあびせてゐるが、それ程に風流味のない日本人は、一も二もなく愚直もしくは馬鹿正直と貶してしまふが、佛教は必ずしもそれに雷同するほど簡單ではない。毎度申す通り『自未得度、先度他』といふ菩薩の誓願である。これを譯せば『自ら未だ渡らざるに先づ他をして渡らしむ』であつて他人の成功のためには己れを犠牲にするの意である。こんなことを言ふてゐた日には何百年たつても代議士にとう選する日はないから、斯かる思想が近代人の成功法と相容れぬのは言ふまでもないが、他のために犠牲となることが人生最高の聖業と観じ得るなら、斯くても生きてゆけぬことはない。そこに佛法独自の天地がある。

出船



黒井春美作
 今だに早き朝霧をついて漁師達勇ましく汀にくだく波の音に負けじと唄ふ出船唄
 鐵色黒き兩の手に力を込めて握りしは彼等達には命綱
 元氣で唄ふ出船唄
 船は靜かに動き出す汗と力の働きは命をかけた波の上
 大漁めざして舟は出ず水平線に朝日出ず
 波にかもめの遊ぶ頃大漁めざして東海荒波けつて舟は出ず

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡回文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

御 中 元

來る廿二日より卅一日迄
 舊九日より十七日迄
 時計、眼鏡、貴金屬類
 其他……正札の
 壹割引大賣出し
 特に修繕物は勉強致します

星野時計店 (平三丁目ルビ向ヒ)

亡父仁太郎儀神葬祭に
 付新盆不仕御提灯等の
 御寄贈は御辭退申上候

八月二十一日

谷口長治

寶鈴院新盆之處時節柄提灯
 其他の御供物一切乍失禮御
 辭退申上候

平町才地小路一番地

鈴木郡司

亡父久次郎新盆の處時
 節柄提灯御供物其他一
 切御辭退申上候

昭和六年八月

月見町 根本一馬

外科

専門線 X

上田外科醫院

平町南町 電話二一九番

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ

煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで

ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢

配 平町三丁目 大勝園



募集

上品なる美人 (十八才ヨリ廿五才)
 職務は食堂給仕 月收五十圓以上確實
 壽し職人 一名 大至急
 見習 一名 くらねこ

杵壽司

平町三丁目 (電六七九)

平町職業紹介所が 求人を開たくする

残暑と共に青くなる求職者 求人側にもインチキが多い

七月から八月二十日現在まで平町職業紹介所の求人数はめつさり減つて七八兩月で男四十二件、女二十八件この

残暑と口のないあきらめに求職側も若干減つたがそれでも求人側の倍からあるが一向動かない、求人側もインチキが多くなつて最近近は行商、外交、土方に限られてゐてあとは安い給料で意の儘に働く少年店員の希望者ばかり、働か盛りの大の男は歓迎されない、行商では怪しげな特許品販賣やら粉石鹼の

販賣人 喜樂特約店の設置準備など信の置けぬものばかり、其他旅館に泊つて

紹介所でも持て餘してゐるが問詰めると結局新聞や雑誌で華やかな女給生活などを見て陰惨な農村を捨て、飛び出して来るもので年齢は二十五六から三十歳位まで分別盛りの女が多く中には田舎から

手紙で 汽車賃二圓も

送つてくれれば紹介所に出になるといつた女もあつて係員を微苦せうさせてゐるが、職業紹介所では在郷からの女の求職だけはなるべく断つて歸らせてゐるが何れにしても昨今めつさり求人が減つたので紹介所でも近く求人開拓をやりた

るて外交員を募集して来たりますのが多くなつたが失業者も外交や行商ではこの不景気に喰へないのは百も承知なので、斯ういふ方面には行くものがない、それから最近在方から女の求職者がめつさり殖えて来たが何れもフラ／＼と出て来るので

多少波亂を見せた 片倉 野崎氏議長に遠慮を迫る 結局原案可決らし

片倉製糖製業社用水値上げを主なる議題として平町會は本日午前十時より開會伏見町長は議案の

説明として「同會社

これ、これ、これぞ、サクラビール栓(口金)に一號の記號あるものには金五圓に相當する本品を贈呈する、なアールほどナと感服した群馬縣沼田町、牧野常三郎(三)は自分で作つた口金に勝手に一號の記號をつけ、料亭に上つてはすりかへて「アア當つた、あたつた、一號だアおれア、ビールはいらねえからお金をくれ」と諸所方々で編取してゐたが、とう／＼沼田署に舉げられ「アア食つて逃げて駄目だぞ、こんな常習犯は見せしめのため懲役だッ」に常三郎とも神妙らしく「はい、センないこと御座ります」

て割引を申出た爲め當局は各地の状況を調査せるに郡山は五厘八毛、福島は六厘八毛、仙臺は五厘八毛の料金になつて居るので土木委員會の意見を徴した結果値下げ説もあつたが多数は此際値上げが適當なりとして審議の末本日提案通り四厘八毛の率を以つて向ふ三ヶ年徴収すべしと決定を見たのである」と述べ鈴木光吉氏は「値上げの際には

會社側 於て井戸を部の四百耗鐵管一條に敷設替し途中好間川を伏越横断すること二ヶ所好間村大字上好間字上野原浄水場内着水に達す此延長壹千貳百八十間なり

三、着水井 取水室より内徑四百耗鐵管に依り着水井に入る着水井は内徑八尺深八尺圓形混泥土造にして水位標器を取付流量を測定し得る装置とすより沈澱池に送水す

平水道擴張 工事の説明

目下進捗中の平町上水道擴張工事が如何なる工程をたどりつゝあるか、昨日町當局の公表した説明書に依ると左記の如くである。

平町上水道は本町の西北を貫流する好間川本流にして本町を離る一里半上流本部好間村大字上好間俗稱大瀧より古來の灌溉用水路貳百六十間を利用し茲に取水室を設け是より導水鐵管内經四百耗壹千貳百八十間を敷

設し好間村字上野原浄水場内に着水井を設け瀘過池に達す瀘過後四百耗鐵管を以て集合井に入り其より四百耗送水線一七六二五間より三〇〇 三五〇耗の技管を以て分岐し同個所より三百耗送水線増設延長壹千六百

九十九間五分を敷設し町内八幡小路に設置する高區配水槽(着水井兼)を経て配水池に送水し之より鐵管にて町内に配水す

一、取水室 水源は福島縣石城郡好間村大字上好間字大畑西北に當り好間川俗稱大瀧より既設水路二百六十間を利用同点に前計劃同様の混泥土造にて巾六尺長九尺六寸の長方形取水室を築し内部を二つに區分し開閉器を設け水

今日話 題

堀り水道の給水を受けずと申出あつたと聞くが事實か」と質し大森勇氏も此點を尋ねる處あり伏見議長は「最初は左様な申出であつたが其後所長は幾分

二、導水管 導水管は内徑四百耗鐵管を以て取水室出口を起点とし測点三二間の間に於て既設鐵管に接合し之より以下全

利益を齎らす点なしと力説して平町が郡山より一厘安くした算定の根據は何處にあるかと食つて掛り町長は此際一概に高くするのめどうかと考へ他地の振り合ひを

参考にしたのみである」と軽く受け流す野崎議長は伏見町長は同社の相談役であるから議長を遠慮してはどうかと嫌味を述べ馬目(雅)氏は井上萩原兩氏も

御新佛への大サーピス 法名入提灯の大廉賣

- 瓜形 一對房付 金一圓五十錢ヨリ
- 角形 一對房付 金一圓五十錢ヨリ
- 經尺三 金三圓ヨリ
- 尺五 金五圓ヨリ
- 尺八 金八圓ヨリ
- 尺四 金四圓半錢ヨリ
- 尺六 金七圓ヨリ
- 二尺 金十圓半錢ヨリ

是非御下命は電話九五番? 平 四 丁目 スガノヤ提灯店

會社の重役だから遠慮が當然也と叫べば萩原氏自席から「株主は如何なるものでせう」と遣り返す。大森氏も

相談役を辭任してはどうかと持ち掛けたが町長は相談役が議長を兼ねる事は法規上一向差支へなく又辭任するかどうかは辯明の限りでない」と突抜す根本品藏氏は會社の使用量を質し値上げの結果

使用量を減するが如き事あらば結局歳入減は免れまいと云ひ井上氏は重役としての自己辯明を爲し正午休議となつたが結局原案通り決定を見る模様である

平町人事 出生 △三倉八 秋山林藏氏長男利男 △大倉一八ノ一 當時錦村大字大倉字大馬一九五木留吉氏五男勲 △三丁目二 當時西白河郡白河町字道場小路四二 小島朝三郎氏長子純一

婚姻 △飯野村大字上荒川字林作一三三 猪狩正(二五)古鍛治町二九 佐藤ワサ(二〇) △長橋町三〇 齋藤スミ(二三)

死亡 △長橋町三〇 齋藤スミ(二三)

衝突の責任を感じて

トラックの自殺を圖る

荷物満載藤原川に轉落大破

廿一日午前三時三十分頃石城郡四倉町早川自動車部運轉手澤孝吉(三)はトラックへ荷物を積載して東京から

四倉へ 向け石城郡警

崎村大字上湯長谷地内國道筋を疾走中前方より湯本町

字表町青物商伊藤鐵造(二)が乗つて来たリヤカー付自

轉車と衝突し伊藤は田圃に跳ぬ飛ばされて瀕死の重傷

を負ひトラックはカーブを切つたので藤原川下流へ轉

落大破したが奇蹟的に運轉手

上澤は助かり伊藤を附近の

病院へ かつぎ込み治療を加へ湯本驛から汽車で

四倉町の自宅に歸つたが衝突の自責に堪えかねキハツ

油を多量に飲んで自殺を計

相手が瀕死の重傷

り苦悶中を家人が発見應急手あてをなし生命は取りとめるらしいがかなりの

重態である、目下平

署では現場へ西條部長出張し原因その他に附いて取調

中である

女房が

服毒自殺

家庭不和で 精神に異常

石城郡三坂村大字上三坂字網農鈴木角之助内縁の妻石城郡勿來町宇關田生れ日渡ヨシ(五)は十九日午前七時半頃自宅でセイサン加里を多量に嚥下自殺した原因は家庭の不和から精神に異常を呈してこの始末に及んだものであると

現議員再選と決定

民政野崎派の豫選會

若松派も是れに對抗する

石城郡民政派(野崎派)にては本日午前十時より南町民政クラブ樓上に於て縣議候補者の豫選會を開き現議員たる野崎、若松、鷺の三氏を擁立すべく先般の幹部會

決議同様に決定し来る廿七日迄に各町村一二名宛の選舉委員を挙げ夫々交渉する事に決定したが是れに對抗して若松派も豫選會を開く事となるから今後一波瀾は

記念品

本日寄附採納

本日の平町會に於て寄附採納となつた平第三小學校新築落成記念品及び寄附氏名左記の如くである

△乃木將軍書掛軸、鐘乳石、朝鮮人參、齒科衛生

參考書、同標本類、五丁目遠藤爲吉△征露記念撮

影綴額、正月町谷川清助△椰子の實、立町鈴木角

治△鷲の足、鑛物標本、鎌田町岡田千藏△鑛物標

本、新川町井坂辰之助△さゞん花、櫻、梅、ひば

五丁目井上茂作△飛行機プロペラ、堤の内丹野金

藏△銀杏盆栽、鎌田町佐藤岩次郎△ゴム液、ムゴ

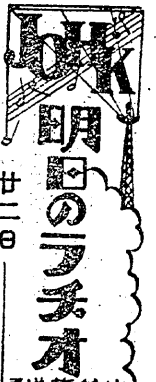
粗製品、大蛇の皮、胡摩澤酒井一郎△征露記念品

新川町松崎長太郎△傘、手摺町林田滿△雜巾、新

川町紺野トメ△モロ杉、鎌田佐藤子之松△水晶、

大工町星野清作△つゝじ新川町中野勇吉△同、同

町遊葉巳之松△講堂用演



今晚の部
後六、〇〇(子供の時間) 童話「涙の萬歳」中根眞雄
後六、三〇 趣味の科學智識「血液の話」(其一) 醫學博士 林 暁
後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河北新報社ニュース 氣象通報告知事項 番組豫告
後七、三〇 川柳講座「川柳の見方と作り方」三 大谷五花村

明日の部
前六、〇〇 ラヂオ体操
前六、三〇 夏期英語講座
新川町松崎サダ

「中等科、第二講の六」長澤英一郎
前九、〇〇 氣象通報
前九、一〇 料理献立「紫蘇まぶしほづき貝」二、巾着茄子の鮑甲焼 菊地貞子日用品値段
前二、〇〇 夏期講習「洋服補綴」(三)高木美代子
正午 時報
後〇、〇五 ラヂオドラマ「日光の圓藏と國定忠治」下山竹の子一座
後〇、四〇 全國ニュース 河北新報社 ニュース 氣象通報告知事項
後二、〇〇 健康講座「小兒の痔疾と豫防」醫學博士 飯島博
後三、四〇 氣象通報

全村が悉く滞納

助役以下小使迄がワラチ履きで督促

石城郡南山間部落の財政逼迫は既記の如くであるが田

人村の如きは僅に四百戸たらずの戸數で税金を滞納し

ない家は殆ど一軒もなく戸數割のごときも六年度前期

分約三千六百餘圓を期日までに收めたものは一軒もな

いので目下助役以下小使までが草鞋ばきで夏中半休に

もかゝはらず薄暮まで教員俸給その他文拂ひのため督促に歩いてゐると

疫病患者發生 平町彌宣町磐城炭礦發電所長屋

平窪村同窓會 石城郡平窪村では去る二十日午

前十時から同村小學校に於て同窓會を開催した

放還した が同警部補の訊問に對しても總べて女

口調で薄氣味が悪くなる程であつたと

各炭礦休業

從業員慰安

常警各炭坑では舊盆に際し從業員慰勞の爲め二十七、八、九の三日間臨時公休を

七年間女装で押し通した男

薄氣味悪い物腰口調

元は旅役者の女形

昨夜八時頃新田町の花柳街を三味線抱へて歩く斷髮の女あつたを平署員が怪しく

感じて段々取調べる と女として

は腑に落ちぬ点があるので平署に引致して着衣を脱が

せると女處か筋骨たくまし

い男であつたので署員一同吃驚したが右は山梨縣南津留郡福知村佐藤梅松(三)と

以前田舎廻りの旅役者の群れに投じ女形を演じて居た處物腰態度が總べて女同様となり其後一座を抜け出

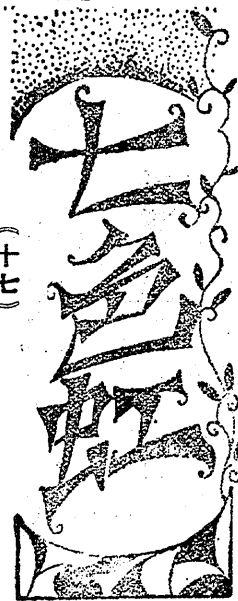
季節料理

井重 0.50
なな 0.70

平田町(錦水隣り) 榮 魚 電 4 2 4
かば焼

暑中御伺

小説



(十七)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

狭妓歌治 (3)

『でも御主人の手前もあり
ますからね』
『親父は床の間の飾り物だ
よ。金庫の鍵までいぢくり
やしない』
『然うですか。なるほど』
額に手を當て、當惑らしい
様子をして見せてから

『ちや歸つて支配人に然う
申しませうか。金は此處に
持つて来てあります。これ
も突返すやうなにして』
『なに返さなくてもいい、
折角持つて来たんだ、置い
ていけ』
『アハ、虫が好うござい
ますね。』
『何だと。』

『いえ、なに、虫が……
これであの腹の虫がやつと
納まりました。これで私の
責任解除、電車の中で人込
にウンと揉まれて、死ぬや
うな苦しみをして来た甲斐
があります。それでは、五
百金、確にお渡ししまし
ます。それから一寸若旦那、
支配人からお言傳ですが、
えつと、貴殿が今お宅の方
へお歸りになりますと、方
々の債権者側からいゝんな
面倒くさいことを言つて來
てお困りになるばかりだか
ら當分お歸りにならずに横

濱で暫く形勢を望観してあ
て下さるやうに、及ばずな
がら自分が矢面に立つて防
禦をしますで、御心配なさ
らんやうに、とのこととし
た。』
『然うか。歸れといつたつ
て、もう俺は今なんですぐ
なひぢをつかんだ。と、彼
女は黒く潤んだ瞳をにつこ
りと輝かしてしなだれかゝ
るやうに男の肩へ身を寄せ
かけながら。
『あなた、もつと飲みませ
うよ。そして踊りませうよ
ね、若旦那いゝぢやありま
せんか、なにも心配なこと
なんかありませんわ、今晚
はうんと騒ぎましょうよ。』
と滑らかな英語でいつた。
『いやもう僕は酒なら御免
だよ。』
と 源之助は手をふつた
『ちや、どこかへ遊びにい
きませうか。カマクラ……』



さま歸れるもんか。僕には
もう根が生えてるんだ。こ
んなのが附いてるんだもの
なあヨフラマ。』
體をくねらせてヨフラマの
顔を見あげ、ビロードの襟
のついた桃色の午後服から
スト抜けたふくやか

逗子……カタセ……
何處がいいこと。』
『それも厭だ、こうしてお
前の顔を見てゐたい、何に
も遊びにゆかなくとも二人
でこゝにこうして居るのが
一番私は嬉しいのだ。』
『仕様がな。ね。さう怠

廣 告

けちや、忘れ者よ。貴郎は。
肩にかけた手をぐつと伸
ばしたかと思ふうちに、電
光石火、源之助のカクシカ
ら食出してゐた財布は早く
も彼女の手に轉つてゐた。
高野は驚いて目を圓くした
『アハ、、すりやがった
な。』
泥酔した源之助は、さう
と知りながらもたあいなく
笑つた。女に手を放されて
重心を失つた體は、抜殻の
やうにぐたりとエルボーチ
ユアの上に倒れた。
『あたいに預けて置きなさ
いよ。何にもそんなに心配
することはありませんわ。
いゝぢやありませんか、泥
坊除にね。あたいのポケッ
トなら保険付きの安全金庫
よ。オホ、いゝでしやう
預かつたことよ。』

業 開

季節小節支
他其ばそ那支

出前 迅速
安兵衛 白銀町
郵便通局
江風味
是非一度
御試食を

電話(呼)二九四

賞つて重寶
贈つて便利な
三井の商品切手

番 八 四
三 二
平三電

暑の中心は!!!
ジヤツにレビユウに
國産愛用
それから
金光堂の時計
時計、眼鏡、貴金屬類
蓄音機レコード其他
修繕物大勉強
御伺
目下人氣
平五丁目
電話一九五番

お醬油は ヤマフル

醬油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部)一〇番
(醸造工場)二七番

靈効散
地方代理店
阿康藥舖

寒い、北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家傳 登錄 商標
靈効散
胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御
試し下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますか
ら御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の
様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治
の目的を達します、効き目が効能書以上でアインの
三分の一安價で効はアイン以上値段が安いものでは
から實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無
効の時は返金致します(定價は八日分五十錢です)
平町古鍛冶町(電話四四番)

カクテル
ワキタラテ352
レストラン

體弱
寒暖計
電の番